

お お は い ご ん

contents

- 巻頭言
- 2026年度島根県作業療法士会総会のお礼
- 開催報告：総会后研修
- 司法と作業療法
- 地域に出るということ
- 季節のたより／おすすめ図書
- 専門部コラム 運動器疾患チーム編
- 施設紹介
- 「わたしが元気になれること」／季節を感じるモノ
- おおはいごんアンケート企画
- お知らせ
- 【新連載】島の暮らし
- 編集後記

2026 8
Summer Vol.13



一般社団法人
島根県作業療法士会
Shimane Association of Occupational Therapists

巻頭言



(一社) 島根県作業療法士会
副会長（教育局長）
篠崎 亜由美

変化の時代を、 仲間と共に

日ごとに夏らしさが増してまいりましたが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。五月には日本作業療法士協会の総会、六月には島根県作業療法士会の総会が開催され、今年度の活動も本格化しました。共に島根の作業療法を盛り上げてくださる皆様に、心から感謝申し上げます。

「こころと暮らしを支える、繋がる作業療法」

私は長年精神科領域に従事する中で、現場を取り巻く社会情勢の変化を肌で感じてきました。近年、作業療法の役割は医療機関の中にとどまらず、地域におけるメンタルヘルスへの働きかけへと大きく広がっています。複雑化する社会の中で、心の不調を抱える方への直接的な支援はもろろんのこと、地域のあらゆる人々の孤立を防ぎ、日々の意味ある「作業」を通じて心身のバランスを保てるようサポートする予防的な視点が今まで以上に求められています。対象者の「心の健康」や「その人らしい暮らし」に寄り添うことは、精神科領域に限らず、いずれの分野で働く作業療法士にとっても共通の大切なテーマになっていると感じます。しかし、新しい領域や多様なニーズに向き合い、領域を超えた視点が

求められるからこそ、「自分のアプローチはこれで良いのだろうか」と立ち止まり、悩みや葛藤を抱えることも多いのではないのでしょうか。そのような時に一人で抱え込まず、思いを言葉にし合える「繋がり」が大切であると感じています。

島根県作業療法士会は、会員の皆様が現場の悩みを共有し、共にこれからの作業療法のカタチを創っていくための場所でもあります。

私自身もメンタルヘルスに向けた取り組みについて、ぜひ作業療法士の仲間と共に語り、こころと暮らしを支える作業療法を実践できるようチャレンジしたいと思っています。

県士会を対話の場とし、仲間との繋がりを大切に、チャレンジを続けていきたいです。

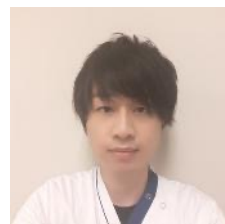
二〇二六年度 島根県作業療法士会

総会のお礼

初司会で緊張しっぱなしでした！

令和八年六月十三日（土）、ビッグハート出雲の黒のスタジオで開催された総会に六五名の会場参加と、三二七名の委任状、合計三九二名に意思表示いただきました。すべての議案に承認いただき、今年度の事業を進めていけることに感謝申し上げます。誠に有難うございました。

また、総会運営にあたり、議長の小林さん（エスポアル出雲クリニック）、副議長の安部さん（社会福祉法人つわぶき）、書記の向原さん（隠岐島前病院）、議事録署名人の小笠原さん（公立邑智病院）に大変ご尽力いただき、滞りなく総会を開催することができました。この場を借りてお礼申し上げます。



事務局長
岩本 悠
(松江市立病院)

今回の議案は通常議案に加えて、第三号議案において、アンケートや交流会で多くの会員から設立に対して、要望が挙がった専門部「運動器疾患チーム」の新設が承認されました。日本作業療法士協会生涯教育制度の専門作業療法士「手の外科」が創立されたこともあり、今後、運動器疾患チーム内あるいは、チームが企画する研修・勉強会などを通して、専門作業療法士の育成につながることを期待しております。

チーズケーキは大きい方が良かった？

今回、総会後に役員企画として、ワークショップを開催いたしました。森脇副会長の案で、「再発見」をテ

ーマに島根のOT、士会のよいところ、こうあってほしいことなど、私たちの未来について、飲み物と一口チーズケーキを食べながらリラックスした雰囲気、グループに分かれて話し合いました。予想以上に、盛り上がり、役員一同、びっくりしました。いただいた意見を参考に、今後の士会運営に活かしていきます。

ところで、事務局に入りませんか？

私事ですが、事務局長として二年目を迎えることになりました。事務業務の効率化に向けブロックメール廃止、総会・県学会同日開催、事務局業務マニュアル作成、総会・理事会のスリム化など取り組んで参りました。また、二〇二七年度総会承認に向けて、定款検討委員とともに変更に向けて会議、士会中長期計画会議にて理事や委員長、ブロック長とともに課題や目標を検討してきました。今年度も事務局員とともに楽しんで取り組んで参りますが、仲間が増えるとともに頑張れます！



開催報告



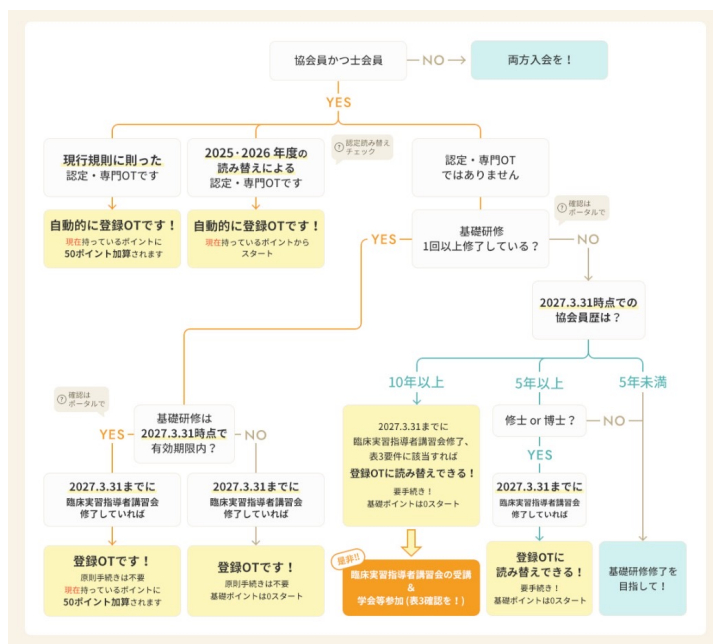
2026年6月13日（土）に総会后研修として“登録作業療法士・認定作業療法士の取得方法”について話をしました。今回は生涯教育部主催のツナガル教育研修会として開催しています。参加者は58名となり、皆さんが興味を持たれている項目だと感じました。

来たる2027年には、新生涯学修制度が開始となり、これまでの基礎研修修了ではなく新たに登録作業療法士取得を目指すことになります。制度では前期研修と後期研修に分かれており、内容も大きく変わります。すでに2025年度以降の会員は新制度がスタートしておりeラーニングが開始となっています。70講座のカリキュラムがあり、それに加えて実地経験として自己チェックリストなどの記入が必要になります。2024年度までに入会している皆さん（会員番号100242まで）は登録作業療法士の申請や読み替えなどが該当します。下記のフロー図を参考にして自身がどこに位置しているのか確認をお願いします。



生涯教育部 部長
佐藤 佑一

また今回は島根県内の認定作業療法士に声を掛け、取得に向けての取り組みなど一人一人から貴重な話しをして頂く機会を設けました。現在では全国で認定作業療法士が2,063名となり、うち島根県内には21名ほど在籍しています。分野も幅広く病院や施設、教育の分野でも活躍されています。認定作業療法士取得に向けた臨床実践報告では認定作業療法士の指導も求められるため顔の見える関係性づくりとして良い場の提供となりました。今後も様々な企画を考えますので、皆さんのご参加をお待ちしています。



2027年3月31日時点で、該当するもの(該当予定のもの)はありますか？	check!
① 日本作業療法学会または都道府県作業療法学会の参加 (2005年度以降)	2回以上 ☐
② 日本作業療法学会または都道府県作業療法学会での筆頭発表 (2005年度以降)	1回以上 ☐
③ 日本作業療法学会または都道府県作業療法学会での講演講師 (シンポジスト含む)	1回以上 ☐
④ 日本作業療法士協会または都道府県作業療法士協会 主催研修会の講師 (90分以上)	1回以上 ☐
⑤ 都道府県作業療法士会役員 (理事、事務局長、副会長、会長、監事)	1期以上 ☐
⑥ 日本作業療法士協会役員 (理事、事務局長、副会長、会長、監事)	1期以上 ☐
⑦ 日本作業療法士協会 部長、委員長	1期以上 ☐
⑧ 日本作業療法士協会、都道府県作業療法士会、他団体・SIG主催学会会長経験	1回以上 ☐
⑨ 日本作業療法士協会他団体認定資格	資格取得 ☐
	計

【表3】協会員歴10年以上(累積 満10年以上)の者が1つ以上 満たす必要要件

いざ受刑者たちへ介入！ 集団療法とSST

司法作業療法委員会が発足して1年、松江刑務所への介入が始まってから、気がつけば1年半が経過しました。この間、私たちは刑務所という環境について学びながら、受刑者への評価や教育、刑務作業、そして刑務所内に存在する独自の文化や社会について理解を深めてきました。その過程で、刑務所職員の皆様から受刑者の変化について教えていただく機会も増え、OTの役割も少しずつ認識されるようになってきたと感じています。これもひとえに、刑務所職員の皆様のご理解とご協力があってこそその成果であると思います。

現在は、刑務所職員とのカンファレンスを通じて選定した対象者に対し、「社会性」や「コミュニケーション」に焦点を当てた介入を開始しています。具体的には、Social Skills Training (SST) と集団療法（ボッチャ）を導入しました。対象者は、相談技能や怒りのコントロールに課題を抱える方、支援の受け入れが難しい方、主体性の低下がみられる方などです。介入を通じて見えてきたのは、多くの受刑者がこれまでこのような治療的な学びや対人関係について振り返る機会を十分に経験してこなかったということです。参加者からは、「すごく勉強になった」、「自分の課題がわかった気がする」といった声が聞かれ、自身の課題を見つめ直す機会となっていることがうかがえました。また、「誰かに頼ること」や「相談すること」の大切さを実感できたという声も聞かれています。さらに、受刑者だけでなく刑務所側にも変化がみられています。これまでの「プログラムありき」の考え方から、「その人ありき」の支援へと少しずつ視点が移りつつあるのです。実際に、当初は「このプログラムをお願いします」という依頼が中心でしたが、現在では「この方を対象として検討できないか」「カンファレンスで話し合ってみてはどうか」といった相談が自然と寄せられるようになっていきます。

そして現在では、SSTや集団療法を実施し、その結果をカンファレンスで振り返り、新たな課題や目標を共有したうえで次の介入につなげていく流れが生まれつつあります。「治療プログラムの実施」、「カンファレンスによる検討」、「新たな支援の実践」、という循環が、自然な支援システムとして形成され始めているのです。まだまだ課題はありますが、司法作業療法委員会と松江刑務所の協働の中から生まれたこの取り組みは、受刑者一人ひとりに焦点を当てながら支援を継続的に発展させていく、新たな受刑者支援モデルとなる可能性を秘めていると感じます。今後も社会復帰を見据えながら、この取り組みをさらに発展させていきたいと考えています。

松江刑務所第2工場集団療法対象者6名に対する社会性に関するアンケート調査
R8年.5月～6月

他の人と一緒に活動に自分から進んで参加
できますか？



- できる
- ややできそう
- どちらともいえない
- あまりできない
- 全く出来ない

他の人と一緒に活動に自分から進んで参加
できますか？



- できる
- ややできそう
- どちらともいえない
- あまりできない
- 全く出来ない

集団療法の開始前後のアンケート結果の一部、対象者の中には自己効力感の向上が見えた受刑者もいた



記事執筆
吉岡 将太

司法作業療法委員会
(訪問看護ステーション
やつか)

地域に出る

記事執筆
リエイブルメント推進
委員会
大垣 一樹
(介護複合施設つむぎ)

今回は地域からの依頼の受け方と、当日の会場に臨む際の心構えについて書かせていただきました。今回はその続編としまして、実際の体操指導の場面でのようなるまいをするのかについて、次のようにまとめました。

いよいよ本番スタート！ その前に・・・

前回にお伝えした当日の下準備についておさらいしますと、①会場をよく観察し、コミュニケーションのきっかけとなるネタを探すこと②キーマンとなるメンバー（多くの場合、声が大きい女性）を見つけておくことの2点がありました。下準備が整うとあとは仕上げるだけ。世話人の方の挨拶があり、私たちを紹介していただきましたら、いよいよスタートです。

まずはチャネル合わせですが、これは皆さんが普段どのような方を対象に、どのようなチャネルでお仕事をしているかで、合わせやすさは変わってくるかと思っています。私の場合は普段はデイスサービスで勤務しており、そこで要介護高齢者に対して行う体操のチャネル（テンション、アウトプットの労力のようなもの？誇張の度合いや、語気）を十としますと、四々五程度まで落とすように意識をしています。あくまで地元の高齢者に対して接する感じですよ。要するに、ザ・デイスサービス！みたいなチャネルのまま始めてしまうと、相手としては少し受け入れがたいかもしれません。

挨拶はさわやかな印象を持たれるような、簡単であっさりしたものでよいかと思っています。「リハビリの専門職」としてやや硬い印象を持たれていることが多いと思うので、相手の緊張をほぐす意味でも意識をしています。

「先程、伺ったんですが…」と事前準備で仕入れていたその地区の情報などを改めて話題にしたり、時事のことに触れたりしながら、場と自分とのチャネルを合わせていきます。ここで、満を持してアイスブレイクを披露し、一気に自分のペースに引き込むと、その後は驚くほどうまく場が回っていくはずですよ。

もったいぶっているわけではないのですが、次回にアイスブレイクの具体例をいくつかご紹介できたらと思います。



地域の方を対象にした車いすについての
講義風景とその後に振る舞われた冷麺

今年の梅雨は、例年以上に長く、「梅雨が明けるのはまだかな」と思った方も多いのではないのでしょうか。このお便りが皆さまの目に触れる頃には、きっと夏本番を迎えていることと思います。

実は私は、ずっと夏が苦手でした。夏は暑くて汗をかくし、化粧は崩れる。虫は全般苦手だし（カブトムシも含む）、紫外線も気になる。服も秋服や冬服が好きなので、「夏なんて早く終わればいいのに」と毎年のように思っていました。

それでも季節は毎年巡り、また暑い夏がやって来ます。そこで昨年は、もういつそのこと思いつきり夏を楽しんでみよう！と考えてみました。いざ夏を楽しもうと思っ

てまだ空は明るく、そのままお祭りへ出かけたり、庭でBBQをしたり、ひまわりを育ててみたり。日焼け止めを全身たっぷりぬって

海水浴にも行ったし、スイカやバイ貝など夏ならではの味覚も楽しみました。夜、地元の花火大会に行った時には「もう夏が終わってしまうなんて悲しすぎる…」とすら思いました。そうして夏の終わり頃、職場の先輩に「夏ってもしかして楽しいですか？」と尋ねると「気づいちゃった？夏って楽しいんだよ。」と教えてもらい、私はとうとう夏を好きになりました。苦手だと思っていた季節も、向き合い方が変わるだけで、見える景色まで変わるものだと気がつきました。今では、夏だからこそ味わえる景色や出来事、おいしいものが、一年の楽しみのひとつになっています。

皆さんは、夏は好きですか？今年の暑い夏も、素敵な思い出が生まれる季節になりますように。



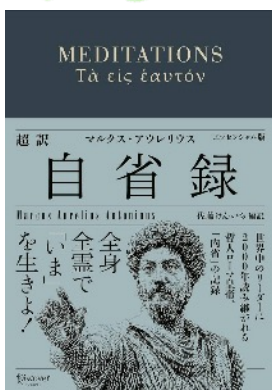
おすすめ 書籍

★こなんホスピタルの板倉です。私が皆さんにお勧めしたい書籍はマルクス・アウレリウス（著）、佐藤けんいち（編）の「超訳 自省録」です。

皆さん、朝起きた時にまず何を考えるといいと思いますか？家事や育児を思う人、今日の仕事の予定が真っ先に思い浮かぶ人、眠たくて何も考えたくない人。正解のない問いかけだと思いますが大丈夫。2000年くらい前の人も同じようなことで悩んでいたようです。

この本の著者であるマルクス・アウレリウス・アントニヌスは今から約1900年前のローマにおける第16代皇帝です。五賢帝という古代ローマの歴史の中では穏健な治世を行ったとされ、ストア派という哲学を好んだと言われています。この「自省録」は皇帝が民衆に威光を示すために書かれたものではなく、日々の出来事や悩みを哲学の視点を通して自分用に残した、いわば「日記」のようなものとなっています。

皇帝として激務に追われるマルクスも、ぶっちゃけ朝はもっと寝ていたいと思っていたようです。でもみんな頑張っているし立場もあるし、自分だけ寝てられない理由をわざわざ紙に書いてまで自分に言い聞かせていました。そんな昔も今も人間の変わらないところが短文でまとめられた「自省録」。明日から役に立つ知識はありませんが、哲学という分野に優しく触れられる素敵なお著書だと思います。



専門部 コラム

ご挨拶

運動器疾患チームは、本年六月の当会総会にて、承認を頂いた専門部の新しいチームです。私は、チームリーダーをさせて頂きます、えだクリニックの陶山（すやま）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

記事執筆

陶山 幸弘

（えだクリニック）

なぜこのチームができたか？

運動器疾患の作業療法の実践は、合併症の対象者を含め多くの会員の方が作業療法を実施している状況ではあるものの、苦手意識をもっている会員も少なくない状況であると聞いています。また、当会では、運動器に関わる研修会の開催がほぼない状況でありました。

そのような状況の中、会員へのアンケートや四十周年記念事業での各ブロックの交流会で、設立に対しての声が挙がっていました。

また、日本作業療法士協会においては、生涯教育制度の専門作業療法士の一つに「手の外科」が創設されているため、当会の理事会で協議し設立に至りました。

チームの理念は？

「運動器疾患に携わる会員が、より対象者の機能・活動・参加に幅広く関わる事が可能となり、健康と幸福に寄与できること」と考えています。

目的は？

- ①運動器分野の研鑽の場の提供
- ②会員同士のつながりの場の提供
- ③会員の方のメリットになる事

活動内容は？

- ①研修会の開催
- ②情報交換会・事例検討会の開催
- ③部会
- ④その他

今年の活動は？

第二十回島根県作業療法学会とのコラボ企画として研修会を開催予定！

とき…二〇二六年十二月五日

場所…出雲市民会館

テーマ…明日から使える肩関節のバイオメ

カニクス（講義・実技）

講師…運動器疾患チームメンバー

チームメンバー

リーダー…陶山幸弘（えだクリニック）
サブリーダー…山田大輔（JCHO玉造病院）

現在メンバー募集中です！一緒に活動していただける方は、
shimane.undouki@gmail.comまでご連絡ください！

医療法人田本会

訪問看護ステーションありがとう

放課後等デイサービス/児童発達支援ハピリなの花さんよりご紹介いただきました、医療法人田本会 訪問看護ステーションありがとうございます。当事業所は松江市にあり、看護師5名、理学療法士1名、作業療法士2名が在籍しています。認知症ケア専門士の資格を持つ作業療法士も在籍し専門性を発揮したり、地域ケア会議・リハ職派遣事業に携わったりと、地域活動にも取り組んでいます。

写真はリハビリチーム3名です。年齢が近く、仕事と子育ての両立に悩みながらもお互いに協力し合い、情報交換しております。

当事業所では企業理念「自分が暮らしたい場所で、ありがとうございますに溢れた生活ができることをサポートします」をもとに日々の職務に当たっています。現在、40～100歳代と幅広い年代の方のご自宅・施設様へ訪問させていただいております。それぞれ抱える疾患・考え方・生活の仕方など様々です。訪問にあたり時に迷うこともありますが、当事業所は職種関係なく相談や提案のしやすい雰囲気があり、また事業所の垣根を越えて多職種間の連携を図ることで、より良い支援に結び付けることが出来ていると思います。

これからも利用者様の生活に“ありがとう”が溢れるよう、邁進していきます。



次は、医療法人仁風会 八雲病院 さんにバトンタッチいたします。よろしくお願いします。

えだクリニック
訪問リハビリテーション

医療法人 エスポアール出雲クリニックさんよりご紹介いただきました、えだクリニック 訪問リハビリテーションです。出雲市駅前にあります、えだクリニック整形外科/リハビリテーション科の訪問リハビリテーションは、出雲・松江・雲南・大田エリアで約33名の療法士が、約460名の方へ訪問しています。

今回は大田サテライトの紹介をさせていただきます。作業療法士2人、理学療法士1人が在籍、言語聴覚士1人が兼務しています。

大田市は過疎化や高齢化が進んでおり、利便性も高くないため決して暮らしやすいとは言えない地域です。そのような状況でも、住み慣れた地域でその人らしく安心して生活が続けられるよう、訪問リハビリテーションで多様なニーズに対応しています。対象として、整形疾患や脳血管疾患、難病、認知症など、さまざまな疾患の利用者様に対してリハビリを行っています。

片道30分程度かけて訪問することも少なくありませんが、四季折々の自然を楽しんだり、地域のイベント情報も収集できるところも魅力です。

職場は少人数ではありますが、休憩時間にはスタッフ同士が和気あいあいと話をしたり、利用者様の情報共有や相談も積極的に行っています。とても安心感のある職場です。



次は、浜田医療センターさんにバトンタッチいたします。よろしくお願いします。

Happy

「わたしは元気になれること」

年齢を重ねて行く中で元気になることは変化してきましたが、振り返るとその時々で作業を楽しみながら元気になり、日々を送っていたと思います。ひとは作業をすることで元気になれる！これからその時の自分に合ったものを探していきたいと思います。



こんにちは。作業療法士になってあつという間に二十年を越えた錦織健次と申します。

「わたしは元気になれること」を作業療法士となっ

てからの歩みで振り返って紹介したいと思います。入職直後からの数年間は車の運転をしながら音楽を聴くことでした。覚えることもたくさんあり、悩んだりしながらも好きな音楽を聴いてまたがんばろうと思っていました。5年目を越えた頃からは、サイクリングに熱中しました。激坂を登り切った時は、仕事とはまた違った達成感を感じることができました。今は、これまでのような体の回復力はないかと思う、無理のないウォーキングを行っています。負荷は軽くなりましたが、無理せず続けるを意識しています。



錦織健次

学校法人仁多学園
島根リハビリテーション学院

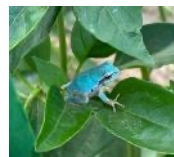
会員から
届きました！

季節を感じる モノ



♡○▽

#風鈴
#尾道
#千光寺



♡○▽

#幸せの青い蛙



♡○▽

#登山
#旅伏山
#斐伊川



♡○▽

#アサギマダラ
#姫島
#藤袴



♡○▽

#岩ガキ
#島根町
#最高！



♡○▽

#カープうどん
#必勝！



♡○▽

#三隅発電所
#海面に映った光



♡○▽

#かくれんぼ
#蛙
#アジサイ

ハッシュタグ#をつけて
写真を送ってください

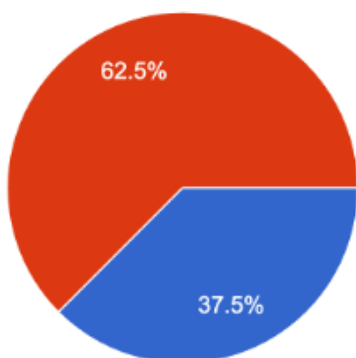


おおはいごん アンケート企画

読者の皆さまに、ちょっとしたことを聞いてみました。

Q1. 4月といえばお花見です🌸

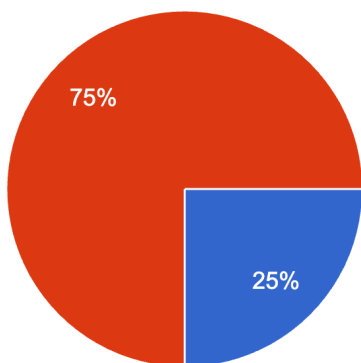
あなたは花より団子派？もちろんお花派？



- お団子大好き花より団子派！
- お花見といえばお花が1番！



Q2. 朝食はしっかり食べましょう。朝はご飯派？それともパン派？



- しっかりご飯を食べます
- 手軽にパンを食べます



アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました！



締め切り
2026年11月1日（水）

広報部では、“おおはいごん”を会員の皆さまと一緒に作りたいという思いから、毎号アンケートを実施中です。堅苦しい内容ではありませんので、ぜひお気軽にお答えください♪

今回のアンケートは“夏”に関するものです。
あなたの思い出をぜひアンケートに！
結果は次回12月号にて掲載予定です。

おしらせ



島根県作業療法士会

公式Xアカウントはじめました！

島根県の作業療法士の活躍をリアルタイムでお伝えします！

2024年7月から開始となりました。
研修会の案内やイベントの情報など随時更新していきます。

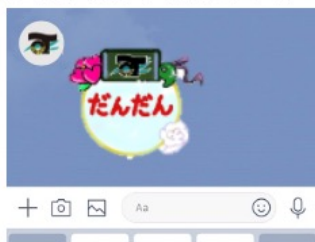
ぜひフォローしてください♪



島根県作業療法士会

公式LINEアカウント

県士会主催の研修会やイベント情報をスピーディーに発信します♪



第1-4弾のスタンプを配信中！

LINEスタンプ内で
「島根県作業療法」と検索！

↓ご意見ご要望はこちらまで

kandreha@kandokai.jp



産休/育休/介護休暇を予定されている方へ 士会 休会制度の創設について

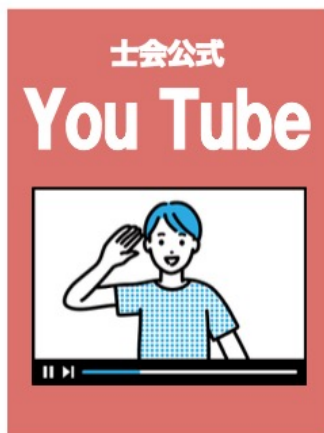
2023年度より利用開始となりました！



主に出産や育児、介護、長期の病気療養などを理由に長期の休職や退職をされた会員への支援として創設しました。

詳細はこちら

ぜひ有効にご活用ください！



島根県作業療法士会

You Tube はじめました！



第一弾は事業部で行う作業療法フェスタの動画です。人に寄り添い、作業に寄り添い、心あたたまる動画です。

左のQRコードから、ぜひご視聴ください！

チャンネル登録

チャンネル登録



よろしくお願いします！

詳細はこちら



第20回 島根県作業療法学会

明日から使える運動器作業療法の 最新情報と臨床実践

～Useful Hand を獲得するための道しるべ～

学会長：陶山 幸弘 えだクリニック

学会開催のお知らせ



日時

令和8年
12月5日（土）
12月6日（日）

会場

出雲市民会館
出雲市塩冶有原町2丁目15番地

内容

基調講演
教育講演
市民公開講座
学会×運動器チーム
コラボ企画 etc…



申し込み
受付中

公式アカウント



HP



Instagram



X

運営事務局

準備委員長：福代 大輔 出雲徳洲会病院
副準備委員長：川島 優子 出雲市民病院
✉ shimane.otgakkai.20th@gmail.com

主催：（一社）島根県作業療法士会 出雲・大田ブロック



第20回学会・学会長
陶山 幸弘
（えだクリニック）

今年は第20回の記念学会となるため2日間で開催予定です。テーマは運動器の作業療法ですが、運動器（整形）以外の分野の皆様にも、興味をもっていただけるように内容を検討しております。一般演題も口述発表に加えe-ポスター発表と新しい取り組みも予定しております。参加者の皆様にとって翌日からの臨床にお役に立てるよう心がけ、実行委員一同、準備を進めております。

出雲でお会いできることを楽しみにしております！
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

皆さんこんにちは、特別養護老人ホーム静和園の古川洋平です。この度、「島のくらし」というテーマでコラムの依頼を受けつくってみました。稚拙な文章ですが、読んでみてください。

皆さんは、「島のくらし」と聞いてどのような暮らしを思い浮かべますか？「島のくらし」と言っても様々な生活の場があり、私の体感ですが「海」「山」「街」の3つに分かれるように感じます。私は、家から出て数秒で漁港がある海の近くで育ってきました。私の集落の特徴として、世帯主に漁業権というものを与えられます。なので、漁業が割と盛んに行われて来ましたが、今では、本業としてよりも副業として漁業を行う方が多いですが、多くが海に携わって暮らしています。私もいずれ船舶免許を取得し、漁業に携わっていこうと考えています。

島の地形上、海沿いは崖が多く、山側や街部に集落が多いです。山側では、農業を生業としている方や、

以前は林業で栄えた島でもあるので、林業を生業としている方もくらしの場とされています。街の方にいけば、役所や病院、スーパーやドラッグストアなどの生活に必要な施設が集まっています。この小さな島で、コンビニは無いですが、5軒もドラッグストアがあります。

島のくらしで困ることは少ないですが、唯一困るのは本土との連絡手段であるフェリーが欠航することです。食料品が届かないこともですが、資材や医療品が届かなかったりと仕事に影響してしまいます。様々なハンディもありますが、それも含め島のくらしを楽しんで送っています。

島のくらしと聞いて想像していたものと比べてどうでしたか？小さな島ですが、それぞれの暮らし方があるということを知っていただけたらと思います。まだまだ話したいこともありますので、続きは直接島に来て体感してください！



家の前から見える漁火
冬には漁火の奥の方に大山のリフトの
明りが見えます



海岸の様子



一押しの夕焼けスポット



求人広告掲載始めました

島根県作業療法士会のホームページにて求人広告掲載を始めました。

詳細内容およびお申し込みにつきましては、島根県作業療法士会ホームページ内「トップページ > 採用情報・求人について」をご確認ください。

求人情報掲載について

- 1 掲載方法
(一社)島根県作業療法士会ホームページに掲載
- 2 掲載期間
3ヶ月
- 3 掲載料
10,000円
※1ヶ月延長につき2,000円

掲載情報のご確認、
求人情報の掲載依頼はこちら



<https://www.shimane-ot.jp/recruitment/>

入会手続きについて

島根県作業療法士会 は仲間を募集中です。

一緒に島根県の作業療法を盛り上げましょう！

お近くの入会がまだの方、新卒の方にお声がけください。



本会の入会とともに **日本作業療法士協会** の入会手続きもお願いします。

(<https://www.jaot.or.jp/nyukai/>)

編集後記

今年も暑い夏がやってきましたね。皆様はいかがお過ごしでしょうか。今季は五月頃から気温が三十九度を超えたり、六月に台風がやってきたりと予想外の天候が続きますね。

訪問リハビリを担当して私は夏の暑さと冬の寒さ、雪と闘いながら訪問に伺っています。す（笑）。三年目の入り、内を涼しくするために道のりが長いぶん増えた。個人の果ては冷房の風を当てるのが効果的でした。

皆様はどのような暑さ対策をしておられますか？聞き合えませんか。

八月は夏真っ盛りですね。海やプールで泳いだり、花火を見たり、西瓜を食べたりと楽しいイベントも色々あります。酷暑という表現がきるほど暑さが強まっています。その中で水分補給や涼しい環境を整えて、体調を大事にしてくださいね。

今年も暑い夏を乗り越えて、来年も暑くありませんように。

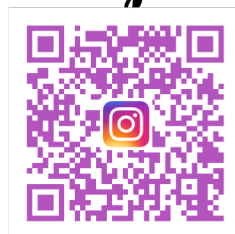
HP



Facebook



Instagram



会員所属施設数 138施設

会員数 518名

(令和8年8月20日現在)

発行 者	小林 央
発行 所	一般社団法人 島根県作業療法士会
編集 者	石田史穂 村上直美
デザイン	稗田朝海 山本豊和
広報 部	森脇繁登 石田史穂 板倉千尋 板倉慎也 岩根寛 稗田朝海 堀江利光 村上直美 山根友美 山本豊和

事務局 一般社団法人 島根県作業療法士会 島根県大田市大田町吉永1428-3 大田市立病院作業療法室内